

オリーブの会通信

2021年2月1日

発行：KHJ 香川県オリーブの会

〒760-0043 高松市今新町4番地20

連絡先 TEL 087-802-2568

<http://khj-olve.com/>



新年を迎え早1ヶ月が過ぎましたが新型コロナウイルス感染拡大の沈静化が進まない中、皆様におかれましては何かと不自由な毎日をお過ごしのことと思います。

会の運営上にもコロナの影響は様々な形で波及してはいますが、皆様のご理解と協力をいただきお陰様で大きなダメージを受けることなく活動が継続できていることを共に喜びたいと思います。

月例会ははじめは、「3密」の回避を厳守して開催し、居場所を活用しての相談・傾聴業務においても毎回開始前に体温測定を行うなど安全確保に留意しています。

とはいえ、国・県の警戒レベルの変更に合せ開催行事の予定変更を余儀なくされ、業務の増加に直面することも出てきています。また、講師をお招きし地域の皆様にも周知拡大する講演会等の実施は大変困難になっています。

・コロナ対応で実施日・出席申込み方法が変更となった行事の一部

- ① 「ひきこもり UX ラウンジ in 高松」、1月20日(水) ⇒ 3月12日(金)
 - ② 「ひきこもり UX ラウンジ in 多度津」、2月6日(土) ⇒ 3月13日(土)
- 双方とも、当初は事前申込み不要でしたが、事前申込みが必要となりました。
— 当会会員には行事のチラシを同封 —

コロナ対応に関連し会員の皆様への今後のお願い（全行事共通）

今後、国等のコロナへの対応は警戒レベル設定はじめ刻々と変化することが見込まれ、当会の関わる諸行事もこれを踏まえた対応の必要上、変更通知ができないまま急に日程変更等をしなければならない事態も予想されます。

つきましては、会員の皆様には、各自がご迷惑を被らないために会からの郵送物、「オリーブの会通信」はじめ）・ホームページに十分に目を通していただくこと、

日程が近づいたら念のため会の主催者・会場・KHJ 香川県オリーブの会事務所：087-802-2568・同会の運営委員（8名：松本・平野・川井・本倉・細川・片桐・武下・吉田）などに問い合わせるなど各自で事前確認を行っていただきたくお願いします。

松本：080-1991-7625

- 今回の「ひきこもり UX ラウンジ in 高松」の日程変更はハガキで緊急通知しましたが、都度、このような対応方法がとれない場合が生じます。 —

第 222 回月例会ご案内

日 時	2021 年 2 月 28 (日) 13:30~16:30 (受付: 13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1・2研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel: 087-867-7686
内 容	☆一部 13:30~ 会の諸報告 去る 12 月 6 日名古屋市で開催されたシンポジウム「これからのひきこもり支援の方向を模索する」の収録 DVD のうち、1 月の月例会で時間不足のため視聴できなかった部分の視聴 内容は ・石川良子氏 (松山大学) の講演 「ままならなさと共に生きる」 ・シンポジスト (長谷川俊雄氏、石川良子氏、河村康英氏) を交えた 討議内容 15:00~15:15 休憩 ☆二部 15:15~16:30 グループ別 話し合い

第 223 回月例会ご案内

日 時	2021 年 3 月 28 (日) 13:30~16:30 (受付: 13:00~)
場 所	かがわ総合リハビリテーションセンター 「福祉センター」 2階 第1・2研修室 〒761-8057 高松市田村町 1114 番地 Tel: 087-867-7686

内 容	<p>★一部 13:30～ 会の諸報告</p>
	<p>13:35～15:00 1月23日・24日 KJH 本部がオンラインで開催した「ひきこもり問題の理解促進と支援力向上のための研修会」の一部の収録 DVD が入手できれば(現在交渉中)上映し視聴 *この研修を現に受講(有料)された方には大変申し訳ありませんが、当会会員のために今回は特にお許しください。 *入手ができない場合は、代替のプログラムを選定します。</p> <p>15:00～15:15 休憩</p> <p>★二部 15:15～16:30 グループ別 話し合い</p>

- ・会場使用をさせていただいています「かがわ総合リハビリテーションセンター」は入場者定数を本来の定員に戻しましたが、新型コロナウイルス対応は特に慎重を期しておられますので入館時のマスク着用、体温測定等施設のルールに従って下さい。
なお、感染状況に対応して今後ルール変更されることも予想されるためリハセンの最新のルールの把握にも努めて下さい。

リハセンは都度、会場の机・椅子の配置と終了後の元位置への移動を使用者側がしなければなりませんので皆様のご協力をいただけると感謝です。

- 4月の月例会(25日)は、香川大学医学部精神神経科学講座(助教) 木戸瑞江先生をお招きし「ひきこもりに関わる精神疾患などについて」と題してご講演いただけることになっています。 会場：香川県社会福祉総合センター



12月月例会の報告

このところ年末の恒例になっていますが、若者はじめ数名の方に「この1年を振り返って」のお話しや来年の希望などを自由に話していただく時を持った後、高齢化現象の予防を兼ね、動作の伴う(両方の手や指の動きを上・下、開・閉反対向きに素早く動かすなど)頭と身体の体操を全員でやって心身を柔軟にした後、今度は手話の動作を付けながらの歌唱指導を受けました。

手話の動作はまだまだ未完成ですが皆なで歌った美しいハーモニーが今も心に残っています。

その後、若者に教えてもらって始めた2組に分かれてのゲームはこれまで経験がないほど盛り上がり歓声の連続でした。

予定時刻になっても終わろうとしない程に楽しく力が入ったのは、優勝者に与えられる賞品のためだけではなく、と思います。

(ご準備とご指導をいただいた、川井さん、細川さん、若者の皆さんありがとうございました。)

1月月例会の報告

1月31日の月例会では、名古屋市で去る12月6日に開催されたシンポジウム「これからのひきこもり支援の方向を模索する」の収録DVDの一部を上映し視聴しました。

講演者と演題は以下の通り

- ・長谷川俊雄氏（白樺学園大学）
「ひきこもり支援の難しさ---当事者理解と支援のゴールとは」
- ・石川良子氏（松山大学）
「ままならなさと共に生きる」
- ・河村康英氏（知多市社協）
「これまでのひきこもり支援から感じること」

このうち当日視聴ができたのは ・河村康英氏（知多市社協）「これまでのひきこもり支援から感じること」 と ・長谷川俊雄氏（白樺学園大学）「ひきこもり支援の難しさ---当事者理解と支援のゴールとは」でした。

—この視聴ができましたのは、本行事を共催された「KHJ 東海 NPO 法人なでしこの会（会長田中義和氏）」の大変なご好意によるもので深く感謝します。—

【今月以降の各会等の予定】

(相談窓口・傾聴サロン)

内 容	月	日	曜	時 間	担 当
ひきこもり相談窓口 (来所相談も可) ※先ずは ☎ 087-802-2567 をお待ちしております — 第5土曜日は全て休みです —	2	6、13 20、27	土	10:00~16:00	加藤ほか
	3	6、13 20、27	土	10:00~16:00	加藤ほか
ひきこもり当事者傾聴サロン ※連絡先： ☎ 087-802-2567 — 第1・3土曜日に行います —	2	6、20	土	13:00~16:00	サポーター登録者・平野
	3	6、20	土	13:00~16:00	サポーター登録者・平野

(注) 初めて参加される方は、(☎ 087-802-2568) オリーブの会まで予めお電話ください。

(運営委員会等)

内 容	月	日	曜	時 間	摘 要
第 10 回運営委員会	2	20	土	13 : 30~16 : 30	
第 11 回運営委員会	3	20	土	13 : 30~16 : 30	
第 1 回運営委員会(2021 年度)	4	24	土	13 : 30~16 : 30	
第 2 回運営委員会	5	15	土	13 : 30~16 : 30	総会 : 5/23
第 3 回運営委員会	6	19	土	13 : 30~16 : 30	

* ポパイの会 (居場所活動) 予定は、別途印刷の同封のパンフをご活用ください。

* もし、総会が本来のリアル形式 (現に出席者が参集) で開催できる場合は、5 月 23 日 (日) を予定しています。(開催が困難な場合は昨年に準じた方法で行う予定です。)

お知らせ

- (1) 2 月 6 日 (土)・7 日 (日) の両日に開催予定であった KHJ 本部主催行事「KHJ スキルアップ研修 in 高知」・多機関、官民連携に向けてピアサポーターの力をどう生かすか? 行政との連携づくりをどう考えるか? と題する研修会は、コロナ対応で 4 月以降に開催日が変更されました。(変更後の日程は現在検討中)
- (2) 年末恒例の事務所兼居場所の一斉清掃は、12 月 4 日 (金) には主に 1 階部分、12 日には 2 階部分を実施し共働する喜びをいただきました。今回は、寝具等の不用品の廃棄もすることができ建物内に少し空スペースも確保できました。
- (3) 2 月 16 日から 3 月 14 日迄の間、香川県立図書館の新刊図書の横で「ひきこもりについて考える本」ということで関連図書の展示が行われる予定です。是非、期間中にご覧になってください。
- (4) 国の施策推進に従い香川県では、16 団体で構成する「就職氷河期世代活躍支援かがわプラットフォーム」が設置され雇用者側からは県経営者協会などが含まれる経済団体、サポステ・香川県社協・当会などが含まれる支援団体、香川労働局・香川県などが含まれる行政機関など多機関が連携して実効ある対策を目指し対策を開始しています。ハローワークでは既に専門窓口の開設や就労につながる訓練はじめ各種の対策が実施されていますので該当する世代の方々は関心を深めこの好機にチャレンジすることをお勧めします。

* 就職氷河期世代 : 概ね平成 5 年から同 16 年に学校卒業期を迎えた方々

<おすすめの書籍> 2020.11. 1 発行の「たびだち」第 95 号 P25 広告掲載

「親から始まるひきこもり回復」

・直したものはぶりかえす。やすらぎの中で治ったものはぶり返さない。

著者 臨床心理士 榊田 智彦 : 一社) SCS カウンセリング研究所

以上